

教育ひょうご

発行所 神戸市中央区中山手通4丁目10-8
兵庫教育委員会
発行人 山名幸一
編集人 西嶋保子
電話 078(241)2345
1部7円 年定価280円
(組合員の購読料は組合費の中に含む)

2008/8・11
No. 1722

2面

・教育課程編成講座 前期
・パネルディスカッション
・「ぶれない人権教育の創造
〜同和教育の確かさを受け継いで〜」より

気持ち新たに、2学期への実践へつなげる

(要旨掲載)

7月23日(水)から25日(金)までの3日間、六甲スカイヴィラで第35回教育課程編成講座が行われ、約800人が参加した。

人権教育実態調査報告より

忌部淑恵さん(兵庫教育文化研究所副所長)による、2008年度人権教育実態調査の報告で、教員の同和離れ、意識の大幅な低下が伺える結果がでた。忌部さんは、「特に、地区がないからとくみができないという答えは違っているのではないか。差別の問題は差別される側に問題があるのではなく、差別する側に問題がある。地区のあるなしにかかわらずとくむことが重要」「この調査を通して、法の持つ力の大きさを



感じた。法が切れたことで、これまで私たちがやってきたことが、ガタガタと崩れてしまっているのか。私たちが教職員として、今後どうするかを今日のディスカッションを通して考える機会になればと思う。これまで漠然と捕らえられていた人権教育や同和教育の実態が少し明らかになったのではないか。『地対財特法』はなくなったが、『人権教育世界プログラム』や文科省がだした『第三次とりまとめ』(案)、兵庫県の『人権

前期

全体会で、富田稔さん(天理大学人間学部講師)をコーディネーター、井上拓路さん(宝塚)、古田圭策さん(加印)、北谷錦也さん(兵庫組教文部長)をパネリストに、「ぶれない人権教育の創造〜同和教育の確かさを受け継いで」と題したパネルディスカッションが行われた。

後期

全体会で、志水宏吉さん(大阪大学大学院人間科学研究科教授)による、『力のある学校をつくる』―学力新時代の課題―と題した講演があった。



参加者からは、『確かな学校力』の8つの要素を実践を交流しあった。

日々振り返りながら努めていきたい」「公立の底力をしっかり見据えてとくみしたい」「スクールバスを目標に頑張っていきたい」といった感想があった。

第35回教育課程編成講座

冒頭、山名幸一執行委員長は「35年目の教育課程編成講座こそが、兵庫の教育を守っていく源である。自信と誇りを持って頑張っていきたい。明石で開催される第58次県教研集会、兵教組は開かれた県教研を徹底して進めていく」とあいさつ



「障害のある人とその親の参加があり開かれた教研につながる編成講座になったのは(声屋)との感想があった。障害児教育分科会。

兵庫の教育を守る源としての教育課程編成講座を

教育課程編成講座は、かつては、兵教組自主編成講座という名前で、自ら教育課程を創るといふ決意で開催されていた。その思いは現在の教育課程編成講座に続いている。私たち教職員組合は、自らの労働条件や賃金も重要な要素だが、教育研究について、自主的・主体的におこなうことが大切だ。



山名 幸一

執行委員長あいさつ要旨

一方で、子どもたちを取り巻く状況はどうか。年間の自殺者が3万人を10年連続で超え、児童虐待やネットによるいじめが深刻さを増し、不登校の子どもの数も依然として減ってはいない。また、学校を出た青年たちを待つ社会は、ワーキングプアと呼ばれる年収200万もない人たちが1000万人以上いると伝え

られている。私たちはどんな子どもたちを育て、子どもたちどんな力をつけてやるのか、そのためにお互いが、どういふ教育研究をしていくのか、これは本当に真剣で深刻な課題である。この教育課程編成講座こそが、兵庫の教育を守っていく源であるという、自信と誇りを持って頑張っていきたい。私たちの労働条件、勤務条件を含めた教育研究を、地域の保護者、労働者と

ともに考えていく。そして私たちの労働を、県民、市民に問うことが必要だと思っ

ている。

第58次県教研集会は、明石で開催される。兵教組は、「開かれた教研」を徹底して進めていく。この教育課程編成講座は、県教研集会の前段の中間研究集会ともいうべき場、県教研の成功に向けて、実のある論議を期待する。

確かな現状分析で今後の方針を

兵政連議員より



つだ加代子
(川西市議員)

兵教組に結集する組合員・仲間が、夏休みに入り、忙しい日常と一味違う生活をすごされていますか。56歳で早期退職し、人との出会いの中できっかけをいただき、58歳で立候補。県内各地からのガッツいっばいの支援をうけ、地元での退職された先輩、現職の支えを身近に感じ、3,449票をいただき、川西市議会議員としてスタートしました。この10月ではや2年を迎えます。すべて初めての体験の中、励ましやアドバイスをいただいた皆さまに、改めてお礼を申し上げます。

「子育て支援」「子育て支援」を旗印に選挙を闘い、子どもを中心にした、これまでの川西の教育の継承、教育予算の獲得、教育条件の充実にとりくんでいく。と意気込んだものです。ところが現実には、赤字財

政、広域ごみ処理場の建設にかかわっての問題。タツノオトシゴの形をした川西市の中心部で、中央北地区24haの地域開発の課題など、川西市の今後を決める大事業の大きなうねりを受けています。30年ほど前の人口急増により、小中学校の建設が川西方式でなされ、その大規模改修工事の必要性が叫ばれる折、耐震化の問題提起。

優先順位なる文言で、予算計上がなされていく折、せめて今、現場の声をしっかりと受け止めて、すすめていくことを訴えてきました。アレギーがある子どもにも、の給食、来春から複数志願制度に変わっていく高校入

試、モンスターパーレントといわれる保護者やその生徒、専任の学校図書館司書のいない中で、地域ボランティアとのつながり、卒業生の発する課題など。目の前の課題に突き当たると同時に、この立場にいることの重さをひしひしと感じてきました。まだまだ力を尽くしていただきます、送り出させていただきます、今もしっかりと受け止め、支えていただいている兵教組の皆さま、確かな現状分析と今後の方針をしっかりと胸に秘めて、頑張ってください。

団体生命共済・医療共済

<中途・追加>加入 受付開始! いまからでもご加入できます!

契約例

死亡 2,000万円タイプ (20口)
死亡・高度障害 2,000万円
公務・交通災害死亡 3,000万円
所定の障害 800万~100万円

月掛金 5,400円

入院 5,000円タイプの場合

(医療スタンダード5口=基本契約+長期入院特約+手術特約+退院特約)

入院 1泊につき 5,000円
●1入院につき年間180日まで(ガン入院は日数無制限)
長期入院 一時金で 15万円
●180日以上継続入院に
手術 一時金で 20万~5万円
●所定の手術に
退院 一時金で 5万円
●20日以上継続入院後の退院に

月掛金 1,750円 (60歳以下の場合)

「もしも」のときに頼りになる、
教職員共済生協の共済をご利用ください



この広告は、団体生命共済・医療共済の概要を説明したものです。ご契約にあたっては必ずパンフレットおよび重要事項説明書(契約概要・注意喚起情報)をご覧ください。制度内容をご確認下さい。
教職員共済生活協同組合兵庫県支部 TEL 078-221-9730
神戸市中央区中山手通4丁目10-8 ラッセホール4階 承08-56-15(0807)



第35回教育課程編成講座 前期パネルディスカッション 「ぶれない人権教育の創造 ～同和教育の確かさを受け継いで～」 より一部抜粋

一人ひとりを大切に する教育の原点

同和教育は部落差別の現実に学ぶこと

コーディネーター 富田裕さん(天理大学人間学部講師)、パネリスト 井上拓路さん(宝塚)、古田圭策さん(加印)、北谷錦也さん(兵教組教文部長)



井上さん
教師は差別をなくすことのできる立場と、差別を生み出してしまう立場。教師としてできることは授業の原点、子どもたちの暮らし、将来をみつめ、喜びや悲しみを共有してきた同和教育が、実態調査の結果から明らかに後退し、意識の低下を指摘せざるを得ない。こういったことに対して警鐘を鳴らしていきたい。



古田さん
35年前部落差別と出会い、差別をなくす教師になろうと思った。解放学級では闘う子どもを作らなければならぬと、先輩の先生から言われた。差別落書きの対応が後手に回ったことに、もつと的確にはつきりとした対応ができたのではないかと反省する。被差別側の子どもに、一緒に闘おうといった行動の証として、知人や保護者などの悪い発言に対しては的確に指摘をしていく。同和教育は楽しく、面白いもの。出会っていき楽しさを本当に分かれば面白い。



会場からの意見等

野口克海さん(大阪教育大学)
同和教育論を始める大学1年生に、小・中・高等学校で同和教育・部落問題学習をしたことがあるかと問うと、01、02年度は、150人ほどの全員が手を上げていた。しかし、わずか6、7年で半数に減った。

北谷さん
生活指導をする中で、同和教育も同じだと思ふのは、「嫌や」と言える子を作りたい。そして、分らないことを「教えて」といえる子、次に楽しいことに「誘って」といえる子を見込んで作れば、いじめや不登校もなくなり、友達つなごうが作れるのではないかと。部落出身や外国人などの問題から逃げるのができない子どもたちが、希望がもてるような教育を学校でできたらと思う。

富田さん
「闘う子ども」とは、被差別側の子どもたちが差別に負けない、目の前の差別と闘うというのほもちろんのこと、そうではない子どもたちが、不道徳な現実や自分の心のひっかかりに出会った時、見て見ぬふりをするのではなく、この現実を打破していくために闘うことも含め、そういう子どもたちを育てなければならぬのではないか。



北谷さん
学校、教職員には差別は無いと思いい教師になった。

学校厚生会 「すまいる住宅貸付」創立40周年記念キャンペーン

標準変動金利		年利 2.25%
特約	固定金利	2年 年利 1.47%
		3年 年利 1.62%
		5年 年利 1.95%
上限金利付 変動金利(10年)	約定金利	年利 2.31%
	5年目まで	上限金利 2.67%
	6年目～10年目まで	上限金利 3.45%

3ヵ月期間限定 8月26日～11月21日受付分まで 固定金利

引き下げます!

2年	3年	5年
年利 1.26%	年利 1.41%	年利 1.74%

※上限金利とは、変動金利(10年)適用となる約定金利に上限が設定された貸付で、その期間内に金利がどんなに上昇しても、上限金利以上になることはありません。

3大疾病保障付「すまいる住宅貸付」
すまいる住宅貸付利率 **0.20%** (プラス 上乗せ金利)
3大疾病と診断されれば、住宅ローンの残高が0円!
「すまいる住宅貸付」新規申し込みに限ります。既契約には付帯できませんのでご了承ください。新規借入れする方で貸付日現在の加入年齢が満19歳6ヵ月を超え満50歳6ヵ月までとなります。

〒650-00112 神戸市中央区北長狭通4丁目7番34号
(財)兵庫県学校厚生会
信用共済部
電話 (078) 331-9974

2008年8月1日現在